

氏名	常盤 文枝	部署	看護学科	職名	教授
研究分野	成人看護学、慢性看護学				
学位	博士(看護学)				
学歴	1991年日本赤十字看護大学看護学部、1996年日本赤十字看護大学大学院看護学研究科(修士課程)、2010年日本赤十字看護大学大学院看護学研究科(博士課程)				
経歴	1996年日本赤十字看護大学助手、1999年埼玉県立大学助手、2005年同大学講師、2011年同大学准教授、2016年教授				
所属学会(役職)	日本看護科学学会、日本看護学教育学会(評議員・学術誌編集委員)、日本慢性看護学会、埼玉県立大学保健医療福祉科学学会(理事・学術誌編集委員長)				

【2019年度実績】

1. 研究業績						
(1) 著作						
	著作の名称	単・共	ISBN	発行所、全ページ数	著者、編者名	発行等年月
1	該当なし					
2						
3						
(2) 論文						
	論文の名称	単・共	査読	雑誌名、巻(号)、開始-終了ページ	著者、編者名	発表等年月
1	埼玉県の通所介護における個別機能訓練加算(Ⅱ)の算定状況と課題:個別機能訓練指導員の保有資格による影響	共著	あり	リハビリテーション連携科学. 20(2), 167-173	○常盤文枝, 臼倉京子, 張平平, 金さやか, 他.	2019.12
2	看護基礎教育における最期まで生きることを支える教育の現状と課題	共著	あり	ホスピスケアと在宅ケア. 27(3), 261-270	○黒田真由美, 常盤文枝, 川畑貴美子	2019.12
3						
(3) 学会発表						
	学会発表の演題	単・共		学会名、開催都市	発表者(発表者は○印)	発表等年月
1	Efforts to improve daily life performance in community-living elderly people who use daycare services -Review of Japanese literature-	共同		Advanced Nursing-2019 Global Conference on Nursing Care & Education ,Rome	○Pingping Zhang, Kyoko Usukura, Fumie Tokiwa, Sayaka Kon, et al.	2019.9
2	通所介護における生活行為の課題解決に向けた機能訓練指導研修会プログラムの作成と実際	共同		日本リハビリテーション連携科学学会第21回大会. 越谷	○常盤文枝, 臼倉文枝, 小池裕二, 河合綾香, 菊本東陽, 金さやか, 張平平	2020.3
(4) その他						
	名称	単・共		発表場所等	発表者(発表者は○印)	発表等年月
1	該当なし					
2. 競争的資金等の研究						
	競争的資金等の名称			研究名	研究代表者・研究分担者の別	研究期間
1	文部科学省・日本学術振興会科学研究費補助金(基盤研究C)			心不全患者と家族に対する包括的緩和ケアモデルの開発	研究代表者	2016.4-2020.3(延長)
2	文部科学省・日本学術振興会科学研究費補助金(基盤研究C)			地域包括緩和ケアの充実に向けた家族への教育支援プログラムの開発	研究分担者	2016.4-2020.3(延長)
3	文部科学省・日本学術振興会科学研究費補助金(基盤研究C)			通所介護における生活行為の向上を視点としたマネジメントモデルの開発	研究分担者	2017.4-2020.3
4	文部科学省・日本学術振興会科学研究費補助金(基盤研究C)			中堅看護師の教育力深化を目指したアクティブラーニング型研修の開発と評価	研究分担者	2018.4-2021.3
5	文部科学省・日本学術振興会科学研究費補助金(基盤研究C)			小グループ学習法における総括的評価に資するピア評価の確立	研究代表者	2019.4-2022.3

3. 教育業績				
(1) 講義				
	講義の名称	科目責任者	コマ数	概要(教育内容・方法等において工夫した点)
1	看護研究		2	3年生を対象に調査研究の基礎について講義、助言した
2	看護理論		2	大学院生を対象に看護で用いられる中範囲理論について講義した
3	看護研究(大学院)		4	大学院生を対象に看護研究(量的研究手法)について講義、助言した
4	臨床看護開発論		2	大学院生(博士後期課程)を対象に、臨床看護に関する理論構築について講義を行った。
(2) 演習				
	演習の名称	科目責任者	コマ数	概要(教育内容・方法等において工夫した点)
1	成人看護学Ⅳ	○	13	2年生を対象に慢性病看護について授業プログラムを作成し講義を実施した
2	臨床実践看護		6	4年生を対象に臨床実践に求められる看護技術演習を実施した(選択科目)
3	成人看護学Ⅱ		4	2年生を対象にフィジカルアセスメントの演習を実施した
4	成人看護学Ⅲ		6	3年生を対象に、看護過程に関するグループワークをファシリテートした
5	臨床看護開発論		2	大学院生(博士後期課程)を対象に、臨床看護に関する理論構築についてゼミを行った。
(3) 実習				
	実習の名称	科目責任者	期間	概要(教育内容・方法等において工夫した点)
1	成人看護学実習Ⅱ		2019.5～2019.6	3年生を対象に臨床実践看護実習(主に慢性看護)を指導した
2	IPW実習		2019.10	4年生を対象に、多職種連携について実践で学ぶ実習を指導した
(4) 論文指導				
	対象	期間	主指導・副指導の別及び指導人数	
1	卒業論文	2019.4～2019.12	主指導	5名 副指導 名
2	修士論文	2019.4～2020.1	主指導(指導教員)	1名 副指導(指導補助教員) 2名
3	博士論文	2019.4～2020.1	主指導(指導教員)	名 副指導(指導補助教員) 1名
(5) その他				
	名称	期間	概要(教育内容・方法等において工夫した点)	
1	該当なし			
4. 社会貢献活動				
(1) 講演会、研修会、公開講座等の講師				
	講演会、研修会、公開講座等の名称	主催	講演、研修、公開講座等のテーマ	開催年月
1	自治医科大学病院付属さいたま医療センター看護部研修	自治医科大学病院付属さいたま医療センター看護部	エデュケーションナース養成研修	2019.8-2019.12
2	越谷市立病院看護部研修	越谷市立病院看護部	看護理論 講師	2019.9
3	教員・教育担当者養成課程研修	神奈川県立保健福祉大学 実践教育センター	新しい教育方法としてのTBL	2020.1
4	緩和ケアサロン	緩和ケア研究会	緩和ケアサロン(年7回開催)	2019.5～2020.2
5	実践報告 エデュケーションナース研修	中堅看護師の教育力深化を目指した研修開発PJ	EDNS養成研修の報告およびキックオフセミナー	2020.2
(2) 国、自治体、学術団体等における委員等				
	国、自治体、学術団体等の名称	委員等の名称		任期
1	越谷市	越谷市建築審査会		2018.4-2020.3
2	一般財団法人 日本看護学教育学会	評議員		2016.6-2020.6
3	一般財団法人 日本看護学教育学会	学術誌編集委員・査読委員		2018.6-2020.6
4	公益社団法人 日本看護科学学会	学術誌査読委員		2019.10-2021.10
5	埼玉県立大学保健医療福祉科学学会	理事・学術誌編集委員長		2019.4-2020.3
(3) ジャーナリズムでの発言				
	メディア等の名称	内容		年月
1	該当なし			
(4) その他				
	項目	相手方等	内容	期間
1	該当なし			
5. 学内運営				
	項目	内容		期間

1	全学的委員会及びセンター業務等	高等教育開発センター所員 教育企画部門	2019.4-2020.3
2	全学的委員会及びセンター業務等	教務委員会 教務委員長	2019.4-2020.3
3	大学広報活動	高校教員向け大学説明会	2019.5
3	大学広報活動	オープンキャンパス 学科説明	2019.8
6. 受賞(研究、教育、社会貢献活動に関するもの)			
	受賞名	主催	受賞年月
1	該当なし		
7. 特許の取得			
	特許名	特許番号	登録年月
1	該当なし		
8. 特記事項			